



2021年9月29日

各 位

会社名 芝浦機械株式会社
代表者名 取締役社長 坂元 繁友
(コード番号6104 東証第1部)
問合せ先 広報・IR部長 青木 稔
(TEL 03-3509-0444)

相模工場敷地の有効活用に伴う三井不動産との共同事業化の推進に関するお知らせ

当社は、2021年3月18日付「相模工場敷地の有効活用に伴う三井不動産との共同事業化に向けた検討開始に関するお知らせ」にてお知らせしておりますとおり、中期経営計画「経営改革プラン」に基づいた高収益企業への変革に向けた取り組みの一環として、相模工場の南側一部敷地をより有効に活用していくため、三井不動産株式会社（以下、三井不動産）と共同で物流施設の事業化に向けた検討を進めておりましたところ、今般、2021年9月29日開催の取締役会において、三井不動産と共同で物流施設の事業化に取り組むことを決議いたしました。

本件の詳細につきましては、三井不動産および当社による共同プレスリリース「芝浦機械と三井不動産が共同で「(仮称) MFLP 座間」の事業推進を決定」(2021年9月29日付)をご参照ください。

なお、当事業による当社業績への影響につきましては、今後開発内容の詳細や関連する諸費用等が明らかになった段階で精査の上、必要に応じて速やかに開示いたします。

以 上

報道関係者各位

芝浦機械株式会社
三井不動産株式会社

芝浦機械と三井不動産が共同で
「(仮称)MFLP座間」の事業推進を決定
ZEB認証取得など環境配慮型施設として2022年5月着工を目指す

芝浦機械株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:坂元繁友、以下「芝浦機械」)と三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:菰田正信、以下「三井不動産」)は、神奈川県座間市ひばりが丘における芝浦機械の相模工場の一部敷地にて、三井不動産が大型物流施設「(仮称)MFLP座間」を建設する、共同開発事業(以下「当計画」)の推進を決定したことをお知らせいたします。なお、着工は2022年5月、竣工は2023年9月を予定しております。

当計画は、東京と神奈川・静岡東部を結ぶ大動脈である国道246号線に面する約62,810㎡の敷地に、ダブルランプウェイを備える地上4階建て合計延床面積約130,000㎡のマルチテナント型の物流施設となる予定です。

最寄りの東名高速道路「綾瀬スマートIC」から約4.5km、「横浜町田IC」や圏央道「厚木IC」、国道16号線へのアクセスも良いことから、首都圏一帯を様々な道路網でカバーできるだけでなく、都心から全国各方面への輸送効率が非常に高いエリアに位置します。また、JR線直通的相鉄線「さがみ野」駅からも徒歩10分と従業員の通勤利便性に優れるほか、周辺人口も多く、庫内作業の雇用確保にも有利な立地です。

当計画は、ZEB認証(※1)の取得を予定しており、屋上に設置する太陽光パネルによる再エネ電力供給や、屋内照明のLED化により省エネを推進します。このほか、自然災害時に備えた非常用発電設備や備蓄品の確保、敷地内緑地における歩行者空間の提供など、環境に配慮したサステナブルな物流施設となる予定です。

芝浦機械と三井不動産は当計画推進により、物流という社会インフラに関わる立場として社会に役立つ施策を展開し、持続可能な社会の実現に寄与する物流施設となるよう目指してまいります。



「(仮称)MFLP座間」完成イメージ

※1 ZEB 認証について

ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)とは、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費するエネルギーを省エネと創エネによって正味(ネット)でゼロにすることを旨とした建物のことです。BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)に基づく評価にて、BEI(基準一次エネルギー消費量に対する設計一次エネルギー消費量の割合)の数値および再生可能エネルギー利用の有無に応じて、「ZEB」「Nearly ZEB」「ZEB Ready」といったランク別に、エネルギー性能に特化した第三者認証が得られます。

なお、当計画における ZEB 認証のランクについては、現時点では未定となっております。

【位置図】

＜広域図＞



＜拡大図＞



【施設概要】 今後施設概要については変更の可能性があります。

名 称	(仮称)MFLP 座間
所 在 地	神奈川県座間市ひばりが丘 4-29-1
敷 地 面 積	約 62,810 m ²
延 床 面 積	約 130,000 m ²
規 模	地上 4 階建
設計者・施工者	未定
着 工	2022 年 5 月予定(※2)
竣 工	2023 年 9 月予定

※2 2021 年 7 月整地作業開始

【各社概要】

■芝浦機械株式会社

芝浦機械は、工作機械メーカーとして 1938 年に創業して以来、日本そして世界の産業から要求される様々な機械を、お客様に寄り添い、共創し、提供することで、社会、産業の発展の一翼を担ってまいりました。現在では、射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機、工作機械、超精密加工機、産業用ロボット、電子制御装置などの開発、製造、販売を手掛け、世界のモノづくりを支える企業として邁進しております。また、再生可能エネルギー、省エネルギー、環境対応の新素材、生産性向上などの分野を軸に投資推進を行ない、SDGs で示された問題に対し、事業活動を通じて企業としての役割を果たし、持続可能な社会の実現に向けてさらなる貢献をいたします。

<https://www.shibaura-machine.co.jp>

■三井不動産の物流施設事業について

三井不動産は、2012 年 4 月に物流施設事業部(現 ロジスティクス本部)を立ち上げ、本格的に物流施設開発に取り組んでおります。現在では、「三井不動産ロジスティクスパーク(MFLP)」を旗艦ブランドとして、「MFLP 船橋 I」や「MFLP 茨木」など、国内外で開発・運営施設 47 物件を展開しており、今後も積極的に新規展開を図ってまいります。また、「ともに、つなぐ。ともに、うみだす。」を事業ステートメントとして掲げ、入居企業の皆さまの課題解決パートナーとして、多種多様なヒト・モノ・コトをつなげること、既存の枠にとらわれない価値づくりに挑戦してまいります。

<https://www.mitsufudosan.co.jp/>

【SDGs について】

2015 年の国連サミットで採択された 2030 年に向けての国際目標「SDGs:持続可能な開発目標」。17 の目標と 169 のターゲットが定められており、様々な主体の連携による取り組みが必要となっております。

なお、本リリースの取り組みは、SDGs における 3 つの目標に貢献しています。

目標 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
目標 8 働きがいも経済成長も
目標 11 住み続けられるまちづくりを



*本日、この資料は次の記者クラブに配布しています。

○国土交通記者会 ○国土交通省建設専門紙記者会 ○神奈川県政記者クラブ

※本リリースは、二社連名のため重複してご案内される場合がございますが、ご容赦いただきますようお願いいたします。

<本件に関するお問い合わせ先>

三井不動産株式会社 広報部 TEL:03-3246-3155

芝浦機械株式会社 広報・IR部 TEL:03-3509-0444

<リリース画像のダウンロードサイト>

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/press/>